



朝日文化会館まつり

6月6日(土)と7日(日)に朝日文化会館まつりが行われ、三島地域の小中学校の実践発表と意見交流がありました。寒川小学校は、6年生の代表4名が参加しました。子どもたちが縦割り清掃やスター誕生集会、さくらっ子集会の人権劇など、学校の取組を発表し、人権・同和教育主任から愛護班別人権・同和教育研修会について紹介しました。そして、最後に4人で小泉吉宏さんの「一秒の言葉」という詩を朗読しました。他の学校も、熱心に取り組んでいることが発表から伝わってきました。発表後の意見交流では、他校の発表を聞いた感想を出し合うことで、学習を深めることができました。



5年生防災オンライン学習

6月8日(月)、5年生が防災オンライン学習を行いました。講師は、大川伝承の会代表の佐藤敏郎先生です。今年は、市内6校

(寒川小、上分小、川之江小、金生第二小、松柏小、中之庄小)が参加しました。保護者や地域の方々も来てくださいました。佐藤先生は、東日本大震災が起きたときの被災体験について、分かりやすくお話ししてくださいました。国語科教諭として勤務していた中学校でのお話、娘さんを亡くした親としての思いなどのつらい経験を、「あの日の出来事にふたをしない」「あの日の命に向き合う」という気持ちで語ってくださいました。「防災とはあの日を語ること、未来を語ること」「防災とは『ただいま』を必ず言うこと」など、心に残る言葉がたくさんありました。私たち一人一人が今日の学びを誰かに伝えることで、互いの防災意識を高め、命を守る取組を進めていきたいと思えます。



4年生浄水場見学

6月11日(木)、4年生が中田井浄水場の見学に行きました。まず最初に、浄水場でどのようなことをしているか、どのようにして水が自分たちのところまで届いているのかなどについてのお話を聞きました。

次に、説明を聞きながらそれぞれの施設を見学しました。子どもたちは、川から取り込んだ水が、たくさんの過程を経てきれいになっていく様子を見て、実感を持って学ぶことができました。給水体験やろ過実験にも挑戦しました。災害時に使う給水袋にお水を入れると、予想以上に重かったです。給水車を使うような災害が起こらないことを願います。ろ過実験では、濁った水が砂の層を通過してきれいになっていく様子を実験で確かめました。子どもたちは、茶色かった水が透明になって出てくる様子に興味津々でした。今回の見学で、自分たちがふだん何気なく使っている水が、たくさんの方々の努力によって届いていることを学ぶことができました。



